

No.GHS-0088

安全データシート

製品名 再生液

作成日 2010年12月8日

改訂日 2017年12月1日

1 化学品及び会社情報

化学品の名称	再生液
会社名	株式会社シーズテック
住所	京都市西京区御陵大原 1-39 京大桂ベンチャープラザ南館 2113 号
担当部門	京都バイオ研究所
電話番号	075-382-3001
FAX 番号	075-382-3005
緊急時の電話番号	089-906-7110
整理番号	

2 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分 1
	目に対する重篤な損傷性／目刺激性	区分 1

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	重篤な皮膚の薬傷 重篤な眼の損傷

注意書き

安全対策	保護手袋/衣類および保護眼鏡/保護面を着用すること。 取扱い後はよく洗うこと。 粉塵またはミストを吸入しないこと。
応急措置	吸入した場合:新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合:無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚等に付着した場合:皮膚を流水・シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類を脱ぐこと/取り除くこと。 事故の場合または気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
保管	施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を関連法令に基づき(国際/国/都道府県/市町村の規則を含む)廃棄すること。

3 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分 混合物(水溶液)
 化学名(一般名) 再生液

成分名	含有量	化学式(構造式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ジメチルスルホキシド	5v/v%	(CH ₃) ₂ SO	2-1553	67-68-5
水酸化ナトリウム	2.6%	NaOH	2-1972	1310-73-2

4 応急措置

吸入した場合 吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。
呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確認した上で人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合 皮膚への接触を最小限とするため、付着物を広げないようにする。
汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。
皮膚に触れたら、直ちに多量の水で洗う。

眼に入った場合 最低 15 分間、清浄な水で緩やかに眼の洗浄を行う。できるだけ速やかに医師による診断と手当を受ける。

飲み込んだ場合 直ちに医師の診察を受け、医師にその容器またはラベルを見せる。
水でよく口の中を洗わせる。水をコップ 1-2 飲ませた上で、指をのどに差し込んで吐き出させる。
被災者に意識のない場合は、吐かせてはならない。

応急措置をする者の保護 ゴム手袋と密閉ゴーグルなどを着用する。

5 火災時の措置

消火剤 小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素または散水を用いる。
大火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤あるいは散水を用いる。危険でなければ、容器を火災区域から移動する。消火水をせき止め、後で廃棄する。物質を拡散させてはいけない。
容器内に水を入れてはいけない。消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

使ってはならない消火剤 特になし

火災時の特定危険有害性 火災によって刺激性、有毒及び/または腐食性のガスを発生する恐れがある。
消火水や希釈水は有毒及び/または腐食性があり汚染を引き起こす恐れがある。
燃焼の際、生成する有毒な煙、蒸気またはガス:
一酸化炭素/硫黄酸化物(SO_x)

特定の消火の方法 周辺火災の場合は安全な場所に移送する。移送が不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は、風上から行う。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な保護具を着用する。
6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出防止の措置をする。 製品が下水・河川・海域に流出しないように処置する。
回収、除去	少量の場合、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止法	関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 低地から離れる。 密閉された場所に入る前に換気する。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 容器内に水を入れない。
7 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。
注意事項	皮膚との接触を避ける。 接触や吸入の効果は遅れて現れる恐れがある。 密閉された装置、機械、または局所排気設備を使用する。取扱いは、換気により場所で行う。野外での取扱いはできるだけ風上から作業する。
安全取扱い注意事項	容器に過度の衝撃を与える、転倒させる、落下させる、または引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
保管	
適切な保管条件	密栓して冷蔵庫に保管する。
避けるべき保管条件	強力な酸化剤から離しておく。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン等
8 暴露防止及び保護措置	
設備対策	作業場には換気設備等を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼、手洗い、洗身等の洗浄設備を設け、その位置を明確に表示する。
管理濃度	作業環境評価基準(2005)に記載なし。
許容濃度(暴露限界値)(水酸化ナトリウムとして)	
日本産業衛生学会 2005	(最大値)2 mg/m ³
ACGIH 2004	TLV-TWA 2 mg/m ³ (Ceiling)
NIOSH REL:C2	2 mg/m ³
OSHA PEL:TWA	2 mg/m ³
保護具	
呼吸器の保護具	空気呼吸器(SCBA)を着用する。 防毒マスク

手の保護具	状況に応じて、ゴム製などの不浸透性の手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡または安全ゴーグルを使用する。
皮膚及び身体の保護具	状況に応じて、ゴム製の前掛け、保護衣、長靴などの不浸透性の保護具を接触を避けるために着用する。

9 物理的及び化学的性質

物理的状态	無色透明の液体
臭い	データなし
pH	約 12
融点・凝固点(°C)	データなし
沸点(°C)	データなし
引火点(°C)	データなし
発火点(°C)	データなし
燃焼または爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	約 1
溶解性	本品自体水溶性
オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。
危険有害性反応可能性	酸と接触すると反応する。 加熱すると分解し、有毒な気体と刺激性のフュームを生じる。
避けるべき条件	日光、熱、混触危険物質との接触
混触危険物質	強酸化剤、強酸
危険有害性のある分解生成物	硫黄酸化物(SO _x)

11 有害性情報

	(この物質の、ヒトの健康への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)
急性毒性	
緊急時応急措置指針	毒性: 吸入、摂取や皮膚からの吸収により重傷あるいは致命傷となる恐れがある。
経口、経皮、吸入毒性	気道に対して腐食性を示す。 経口摂取すると、腐食性を示す。
皮膚腐食性・刺激性	皮膚に対して腐食性を示す。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼に対して腐食性を示す。

呼吸器感作性または皮膚感作性	データなし
危険毒性・長期毒性	反復又は長期の皮膚への接触により、皮膚炎を起こすことがある。 肝臓・血液に影響を与え、機能障害、血球損傷を生じることがある。
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	IARC 及び NTP のリストに記載されていない。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	データなし
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
<hr/>	
12 環境影響情報	(この物質の、自然環境への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)
移動性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
生態毒性	データなし
魚毒性	データなし
<hr/>	
13 廃棄上の注意	
廃棄方法	
残余廃棄物	適切な設備、方法で処理する。処理に関する知識及び設備が充分でない場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	適切な設備、方法で処理する。
<hr/>	
14 輸送上の注意	
国際規制	
国連分類(Class)	クラス 8
国連番号(UN No.)	1824
包装等級	2
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
<hr/>	
15 適用法令	
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
船舶安全法	腐食性物質
航空法	施行令別表第 1 有害液体物質(Y 種)

化学物質管理促進法 (PRTR 法)	該当しない
消防法	該当しない
港則法	腐食性物質

16 その他の情報

引用文献

GHS 対応 MSDS・ラベル実務早分かり(社団法人 産業環境管理協会)
製品安全データシート GHS-93106-1 再生液②(ナカライテスク株式会社)

記載内容の問い合わせ先

担当部門	京都バイオ研究所
電話番号	075-382-3001
FAX 番号	075-382-3005

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料および文献を調査したものではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。また、新しい知見によって改定されることがあります。

※ 記載された注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上